



平成 20 年 4 月 9 日

各 位

**血管の異常増殖に起因する種々の疾患の予防および治療に役立つ
血管新生抑制剤としての「NK 4」の特許が成立いたしました。**

クリングルファーマ株式会社（本社：大阪府豊中市、代表取締役社長：岩谷邦夫、以下「クリングルファーマ」）は、異常な血管増殖に起因する炎症性疾患を含む種々の疾患に関して、その予防および治療に役立つNK 4の血管新生抑制剤としての特許が日本で成立し、特許公報（特許第 4094814 号）が発行されたことをごお知らせいたします。

肝細胞増殖因子（hepatocyte growth factor: HGF）の分子内断片であるNK 4は、HGFの拮抗阻害作用と同時に、様々な血管新生因子（血管内皮細胞増殖因子、塩基性線維芽細胞増殖因子、肝細胞増殖因子）によって誘導される血管新生を抑制する効果を有しています。本特許は、異常な血管増殖に起因するリウマチ性関節炎、乾癬、加齢黄斑変性症をはじめとする眼の脈管形成疾患などをカバーする用途特許で、NK 4の医薬品開発の基盤となるものです。本特許は、すでに欧州においても特許査定が出ており、クリングルファーマは引き続き米国での本特許の権利化に注力していきます。

今回の特許成立を受け、クリングルファーマの代表取締役岩谷邦夫は次のようにコメントしております。「癌の浸潤・転移を抑制する抗癌剤としてのNK 4の特許成立に続き（平成 18 年 7 月 28 日付当社プレスリリース参照）、今回の血管新生抑制剤の特許が成立したことにより、NK 4の医薬品化事業を進める基盤を一層強化することができました。今後、大手製薬企業とのアライアンスを目指し、NK 4の医薬品開発を加速させたいと考えています。」

クリングルファーマについて：

クリングルファーマは、大阪大学発創薬バイオベンチャーとして 2001 年 12 月に設立されました。大阪大学医学部の中村敏一教授が発見した HGF および NK4 の医薬品開発を通じ、新規のバイオ医薬品の開発に注力しています。現在、HGF 組換え蛋白質を 1) 急性腎不全、2) 皮膚潰瘍、3) 難治性神経疾患の治療薬として、また、NK4 組換え蛋白質と NK4 遺伝子治療薬を新規制癌剤として医薬品開発を進めています。より詳細な情報は、当社ウェブサイト（www.kringle-pharma.com）をご覧ください。



問合せ先：

町出 真美

クリングルファーマ株式会社

医薬開発本部 知財担当マネージャー

電話 06-6831-3330、電子メール info@kringle-pharma.com